

<平成21年度事業計画書>

1. 褒賞事業・研究支援事業

1-1 褒賞事業

平成20年及び21年中に発表された海洋科学に関する優秀な論文のうちから2編以内の著者に対し、日本海洋学会が授与する日高論文賞に対して副賞（賞金及び賞牌）の贈呈を行う。

1-2 研究支援事業

海洋科学及び技術に関する研究に対する支援の一環として、若手海洋学の研究者に対し、海外渡航費の援助を行う。

2. 調査研究事業（受託事業）

2-1 青森県からの受託事業

津軽暖流の大きな影響を受ける六ヶ所村前面海域において、海洋での放射性核種の挙動等を明らかにする。また、係留式ブイ1号機の係留索の交換をする。

2-2 地方公共団体、独立行政法人、公益法人等からの受託事業

- (1) 環境試料の加速器質量分析装置(AMS通称タンデトロン)前処理等業務。
- (2) ヨウ素129の分析及び海水試料の炭素14濃度の測定等。

3. 調査研究等自主事業（自主事業）

3-1 (独) 日本原子力研究開発機構と共同で、海洋モデルの妥当性検証に関する研究を実施する。

3-2 海洋データ同化「夏の学校」

海洋データ同化の重要性に鑑み、海洋力学、数値モデル、データ解析等に関して、資料の集大成を行うと共に、若手研究者、技術者を育成するために「夏の学校」を開設、運営する。

3-3 シンポジウム等の開催

関係機関との共催によるシンポジウムを開催する等、研究成果・活動状況を外部へ発信する。

4. 科学技術館の運営事業（受託事業）

むつ科学技術館の運営及び科学技術普及業務。

5. その他

海洋科学及び技術に関する研究開発・普及啓発活動等、年度途中においても、当財団の目的に合致する範囲内で、諸機関からの受託及び研究助成を受けた事業を推進する。